



写真 / 岩屋湧水の水場。水くみに来る人々が絶えない



### 「名水」認定 新たな波紋 福岡県 順番待ちでトラブル続出 自販機設置検討の矢先

「平成の名水100選」に認定されたことで、対応の練り直しを迫られたという。「岩屋湧水」がある福岡県朝倉郡東峰村。水場での順番待ちをめぐるトラブルが後を絶たず、タンク車で乗り付け、水を独占するケースも出てきたことから、村は水の自販機を設置し、料金を徴収する方向で検討を開始。その矢先に、100選認定の知らせが届いた。「自販機が景観を損なわないだろうか」「名水だから有料化したと誤解されるかも」。吉報が新たな波紋をもたらした。  
(朝倉支局・沢辺克己)



写真 / JR日田彦山線 筑前岩屋駅

JR日田彦山線の筑前岩屋駅。岩屋湧水の水場は駅前広場にあり、岩々の間に通された5本のパイプからは休みなく水が流れる。湧水量は1日1万5000トン。「最近、待ち時間が長くなりました」。常連の朝倉市の主婦(38)は語った。100選認定の報道があった6月5日以降、水くみの列が伸びたという。

大分県境との山あい広がる東峰村にあって、岩屋湧水は「豊かな自然をアピールする絶好の素材」(村企画振興課)。10年ほど前までは地域住民が重宝する程度だったが、その「おいしさ」が口「ミ」で広がり、観光資源が乏しい村も05年3月の合併を機に観光パンフレットで紹介を始めたため、認知度がアップ。週末になると、水くみに訪れる人々で駅前がごった返すようになった。

村は昨年春、「岩屋湧水活用検討委員会」を立ち上げた。地域住民や地元商工会、農協関係者も参加。水場のにぎわいと同時に増えたトラブルの対処法が目的だった。水が出るパイプの占領や順番待ちの列への割り込みに加え、駅前の好立地を逆手に取り、水場に横付けしたタンクローリー車で一気に取水する事態もあったという。

今年3月、検討委が導き出した方針は「自販機設置による水の有料

化」。村企画振興課の杉野秀行さん(33)は「有料化はマナー順守への期待もあった」と語る。方針を踏まえ、自販機の設置場所や料金設定の作業を開始。自販機では水を殺菌するため飲料水としての利用を打ち出せるなど、岩屋湧水の価値がさらに高まるはずだった。

ところが、2月の応募時点では「半信半疑だった」(杉野さん)という名水100選に認定。「景観の素晴らしさ」も評価されたことから、「無機質な自販機が景観にマッチするのかわ」と役場内で大議論になった。料金徴収は自販機の維持管理や水場の環境整備に充てるものだが、杉野さんは「認定を機に、村が名水でもうけようとする勘違いされる懸念もあった」と話す。

「100選認定は、うれしい誤算。もう一度、岩屋湧水を中心に据えた浮揚策を練り直したい」と、同課の泉和隆課長。7月下旬にも再度、検討委を立ち上げる方針だ。  
【2008年7月2日西日本新聞】

このたびの岩手県沿岸北部地震で被災された皆様には、心からお見舞いを申し上げます。被災地域にお住まいのお客様の中で、浄水器本体の破損、その他の不具合が発生しているなど、お困りの方はいらっしゃいませんか？大切なお客様へ、日頃の感謝と、お見舞いの気持ち、少しでも届けられますように、代理店の皆様と協力して対処させていただきます。もう少し、落ち着いてからでも結構です。該当されるお客様があられましたら、遠慮なく弊社までご連絡をいただきますよう、紙面をお借りして、お願い申し上げます。



農薬はいつから使われたか

平安時代に書かれた「古語拾遺」という本に、害虫に関する記載があるそうです。その駆除には、山椒や塩などを混ぜ合わせた物をまけとあります。が、効果のほどはどうだったのでしょうか。

江戸時代になると、タバコの煮汁や硫黄を燃やした煙が、使われたことがあったようです。一部の地域では鯨油を水田に注ぎ、油膜に触れた害虫が油にまみれて死ぬなどの方法も用いられました。

明治になると欧州で効果の認められた除虫菊の栽培が、日本でもおこなわれるようになりました。ほかにもフランスから石灰硫黄合剤やアメリカから青酸、亜ヒ酸、硫酸ニコチンが入ってきました。

1938年、スイスで誕生したのがDDTです。戦後、駐留軍によって日本人のシラミ駆除のためにDDTが使われました。DDTは合成農薬とし



写真 / 当時の DDT 散布の様子



写真左 / アメリカで出版された「サイレント・スプリング」 右 / 翻訳された「沈黙の春」新潮社

写真下 / DDTの散布後にコマドリが死ぬと書かれた、友人からの手紙が執筆の動機だといひます。乳がんと戦いながら執筆したレイチェル・カーソン女史は出版から1年半あまりで亡くなりました。



て初めて大量生産された殺虫剤です。

1940年代、DDTに刺激されるように化学的に合成された農薬が、次々に誕生しました。フランスではBHC（有機塩素系殺虫剤）、ドイツではパラチオン（有機リン系殺虫剤）などの農薬が開発されています。

これらの農薬は殺虫力が強く、長期間効果が続くため、日本でも広範囲に使用されました。

1944年にはイギリスで除草剤「2,4-D」が誕生しました。作物以外の雑草を枯らす除草剤の誕生は画期的なことで、手間のかかる雑草処理が楽になると、農家から大歓迎されました。

なお、ベトナム戦争で撒かれた枯葉剤は6割がこの2,4-Dと2,4,5-Tを混合したオレジン剤といわれる除草剤です。日本でも同じような除草剤が、散布されていたことになりました。

1960年頃、水田の雑草処理用に普及したのがPCPです。1962年、琵琶湖や有明海で大

量の魚が死亡しました。原因は大雨の影響で水田から流出したPCPでした。農薬が自然に害悪を与える可能性を初めて認識させた事件でした。

同年、アメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソン女史が執筆した、DDTの人畜への害や残留性が及ぼす環境汚染への危険を警告した「サイレント・スプリング」が出版されました。

この本は日本でも「沈黙の春」という題名で翻訳されて、大きな反響を呼びました。以降、農薬に対する意識が大きく変わり、1964年には食品に残留している農薬の検査が始まりました。

急速に普及した農薬は、毒性についての知識をもたない農家から多くの犠牲者を出しました。日本中で使用されたDDTやBHCの製造・販売・使用は、1981年によろやく禁止されました。

その後、低毒性の農薬の開発が進められて、古い農薬は徐々に姿を消していきます。1984年には「農薬取締法」が改正され、製造・輸入業者の登録と農薬登録時の各種毒性試験や自然界への残留試験などを義務づけています。

低毒性とはいっても使用した農薬は、作物に付着したり、内部に浸透したりして残留します。穀物や草を食べた家畜など、牛・豚・鳥肉からも農薬成分は検出されています。河川に流れ出た農薬はやがて海に注ぎ魚の体内に蓄積されます。

それらの農薬成分は食物連鎖で濃縮されて、やがて私たちの体内にも入ってきます。ひとつひとつの毒性は低くても、複数または他の添加物と合わさった場合の「複合汚染」も心配されています。

【次号に続く】

夏本番！海やプールが大盛況ですが、プールでも使用している、塩素系殺菌剤の話題をご紹介します。これからプールに行くときは塩素濃度が正常かどうか、注意してみるのもよいでしょう。



## 西谷川で500匹の

## 魚の死骸 新潟

長岡市栃尾表町を流れる西谷川の大布橋付近で29日、ハヤなど約500匹の魚が死んでいるのを市民が発見、栃尾支所に通報した。

市環境政策課によると、通報があったのは午後1時過ぎで、現場でサンプル水採取して原因を調べているほか、住民に注意を呼びかけている。



写真 / ハヤの死骸が発見された西谷川の大布橋付近 長岡市栃尾表町（旧栃尾市）

西谷川が合流する刈谷田川から取水している見附市は午後1時半から取水を信濃川だけにする措置をとった。

栃尾地域では4月にも堆肥（たいひ）工場が窒素濃度の高い排水を大量に流した川で魚が死ぬ騒ぎがあった。

【2008年5月30日 産経新聞】



## 西谷川の魚大量死

## 原因はプールの水 新潟

長岡市栃尾表町を流れる西谷川で発生した魚の大量死で、市は市立栃尾南小学校（同市上の原町）のプール排水が原因と断定した。

同校は清掃のため、従来の倍の量の塩素系薬剤を投入、中和せずにそのまま川に流していた。

市によると、同校は5月28日夕、大小2つのプールの汚れを落とすため、教諭3人が次亜塩素酸カルシウムを昨年の倍に当たる70〜80キロ投入。29日午前8時ごろから大プール（水量325立方メートル）の排水を始めた。

午後1時ごろ、塩素臭が強いため中和剤を投入するよう教頭から指示があり排水を一時停止したが、教諭らは中和剤投入を忘れ、午後4時ごろから再び排水したため、排水約300立方メートルが川に流れ込んだ。

西谷川の大布橋付近では29日昼ごろ、ハヤなど約500匹の魚が死んでいるのを市民が発見、市栃尾支所に通報していた。

【2008年6月1日 産経新聞】



## プール消毒剤の説明に誤表示 従えば塩素濃度10倍に

医薬品・農薬製造の「日本曹達」（本社・東京都千代田区）のプール消毒剤3商品に、適正値よりも濃度が高くなる使用方法などが表示されていることが分かり、同社は18日、東京都や工場がある新潟県に届けた。健康被害は確認されていないが、回収準備を進めているという。

同社二本木工場（新潟県上越市）総務部によると、誤表示があったのは「日曹ハイクロンG」と「日曹ハイクロンGB」、「日曹ハイクロン（錠剤）」の3製品。説明に従うと塩素濃度が適正値の10倍になるなど、間違った使用方法が袋の裏側に示されていた。

最終的な適正濃度の表示に誤りはなく、「プール管理者はプール使用前に、消毒剤の濃度を適正に調整する」（二本木工場総務部）ため、健康被害の情報は寄せられていないという。



問題の製品は全国に流通しており、1992年から販売しているものもある。工場側は「いつから誤表示が始まったのかは不明」としている。

【2008年7月19日

写真 / 日本曹達  
有効成分は次亜塩素酸カルシウム

読売新聞】

名水百選  
015

### おのがわゆづい 小野川湧水

福島県 / 耶麻郡 北塩原村

磐梯朝日国立公園にある「小野川湖」の源流を形成する小野川湧水群。小野川湖は1888年の磐梯山噴火により小野川がせき止められ作られた裏磐梯湖沼群の1つとされます。

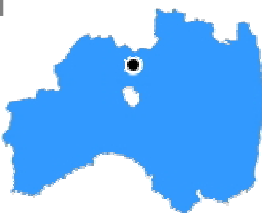
湧水群を代表する「百貫清水」は泉の底から砂を巻き上げながら、新鮮な湧き水が噴出しています。この泉は百貫以上の価値があるといわれたことが命名の由来です。

小野川上流には「不動滝」がその堂々たる姿を見せ、落差20m以上と思われる名瀑の雄姿を直接目にすることが出来ます。

【地元の取り組み】  
トレッキングコースの巡視や管理など、一体的に保全活動を実施しています。



交通 / JR 磐越西線・猪苗代駅、会津乗合自動車バス・五色沼下車（25分）から小野川部落までタクシー10分、小野川部落からジープで20分、そして清水まで徒歩20分（バス便は要確認）  
車 / 東北自動車道猪苗代IC 車で60分  
トレッキングコース駐車場より徒歩30分



名水百選  
016

### やみぞがわゆづいぐん 八溝川湧水群

茨城県 / 久慈郡 大子町

この湧水群は、八溝山（標高1022m）の山頂からわずか下がったところに位置します。

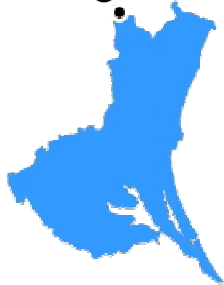
奥深い豊かな自然は山頂付近から中腹は原生林で、八溝山学術参考保護林になっています。湧水群の水は集まって沢となり、八溝川の源流となっています。

この大子町には、日本三大瀑布の「袋田の滝」があります。八溝五水（金性水・鉄水・龍毛水・白毛水・銀性水）は、水戸光圀公が命名し、特に「金性水」を賞味したと伝えられています。

沢には、日本特有のムカシトンボの幼虫が生息しています。（成虫の数北関東一）  
【地元の取り組み】  
町が管理しています。



交通 / JR 水郡線「常陸大子駅」下車 バスにて約45分 その後徒歩で約2時間30分  
/ JR 水郡線「常陸大子駅」よりタクシーにて約45分  
車 / 常磐自動車道「那珂IC」より国道118号経由にて約1時間50分



名水百選  
017

### いずるはらべんてんいけゆづい 出流原弁天池湧水

栃木県 / 佐野市 出流原町

「出流原弁天池の埋蔵金伝説」  
昔このあたりに朝日長者が何不自由なく暮らしていましたが、唯一子宝に恵まれませんでした。

長者夫婦が、出流原弁天に子授けの願を掛けると、美しい女の子（鶴姫）が生まれ、大事に育てられました。姫が18歳の時、山に遊びに入ったまま不帰の人となりました。

落胆した長者夫婦に神が霊示したことは、姫は弁天池の鯉となっており、竜神となって昇天するためには、莫大な財宝がいるとのことでした。そこで長者は娘のためにと後山に財宝を埋め、宝のありかを詠んだ歌も残したといわれています。

【地元の取り組み】  
地元町会による、名水地点を含む公園の定期的な清掃活動を行っています。



交通 / JR 両毛線「佐野駅」下車 タクシー30分  
車 / 東北自動車道佐野IC 国道50号線を西、西産業道路を北上、国道293号線を西



「名水百選」は選定から23年以上を経過しているため、周辺の状況が変化している場合があります。

また、飲用に適することを保証するものではありません。

6月に平成の名水百選が発表されました。